

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科 (サウンドクリエイターコース)											
サウンドエンジニアリング 3											
対象	2年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	永田範正			実務 経験	有	職種	アレンジャー、BGM制作				
授業概要											
<p>学生各自がサウンドクリエイターとして、クライアントからの様々な要求に、スピーディーかつ柔軟に対応できるビジネススキルを身につけることを目的とする。そのために業界標準のDAWソフト「cubase」を用いて、テーマ性を持たせたインストゥルメンタル (BGM系) の作品制作作業を主とし、最短時間でクオリティの高い作品を制作するためのさまざまなTIPSを学ぶ。</p>											
到達目標											
<p>指定されたテーマ、ジャンルのBGM作品を素早く、高いクオリティで制作できることを到達目標とする。そのために1年次に学んだ基礎的アレンジ技法、アレンジ授業で学んだ高度なアレンジ技法を活用し、クライアントとしての他学科からの様々な要求に、スピーディーかつ柔軟に対応できる。</p>											
授業方法											
<p>一人一台DAW(cubase)を使用し、講師が指定するテーマ、またはクライアントとしての他学科からのオーダーにそった作品制作を行う。定期的に課題提出、授業内発表をおこない、それに対するアドバイスをし、理解度を深めてゆく。</p>											
成績評価方法											
<p>提出物60% (知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業態度20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)</p>											
履修上の注意											
<p>ヘッドホン (イヤホン)、変換アダプター、USB等メモリーを持参すること。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。</p>											
教科書教材											
配布プリント											
回数	授業計画										
第1回	ダイアトニックコードを使用した典型的なJ-Pop風BGMの制作。骨組み作りができる。										
第2回	ダイアトニックコードを使用した典型的なJ-Pop風BGMの制作。アレンジ作業ができる。										
第3回	ダイアトニックコードを使用した典型的なJ-Pop風BGMの制作。ミックスと提出。										

2020年度 日本工学院八王子専門学校

ミュージックアーティスト科 (サウンドクリエイターコース)

サウンドエンジニアリング 3

第4回	ギターサウンドのRock風BGMの制作。骨組み作りができる。
第5回	ギターサウンドのRock風BGMの制作。デジタル要素と効果音を含めたアレンジ作業ができる。
第6回	ギターサウンドのRock風BGMの制作。ミックスと提出。
第7回	ストリングスを使用したバラード風BGMの制作。骨組み作りができる。
第8回	ストリングスを使用したバラード風BGMの制作。アレンジ作業ができる。
第9回	ストリングスを使用したバラード風BGMの制作。ミックスと提出。
第10回	ここまで提出した作品の授業内発表。
第11回	デジタルサウンドのBGM制作。骨組み作りができる。
第12回	デジタルサウンドのBGM制作。自作のシンセサイザー音色を使用したアレンジ作業ができる。
第13回	デジタルサウンドのBGM制作。ミックスと提出。
第14回	デジタルサウンド作品の授業内発表。各自のシンセサイザー音色の分析ができる。
第15回	前期内容の復習。